

2020年12月期
決算説明会資料
2021/2/10



目次

I	2020年12月期決算概要	P 3-17
II	2021年12月期業績予想	P18-21
III	ローリング中期経営計画の進捗ご報告	P22-28
	参考資料	P29-32

I

2020年12月期

決算概要

事業環境・発生事項

- 新型コロナウイルス感染拡大等の外部環境の急速な変化により、前年比大幅な減益。業績は、第3四半期から緩やかに回復
- 黒鉛電極の対面業界である鉄鋼産業は、本格的な回復になお時間を要すると予想されるも、足もとでは主要生産国を中心に回復基調が鮮明
- 黒鉛電極は、想定を上回る収益性の低下にともない、第4四半期にて棚卸資産の評価損失（簿価切下げ）36.7億円を計上
- カーボンブラックは、米国を中心としたタイヤ産業の需要回復を受け第3四半期以降大きく反転
- ファインカーボンと工業炉は、5G・IoT関連市場の成長を背景に引き続き需要旺盛
- 2020年7月17日付にて、フランスの炭素黒鉛製品メーカーであるCarbone Savoie SASを傘下に持つCarbone Savoie International SASの全株式を取得し精錬ライニング事業に含める
- ファインカーボン事業の素材生産拠点である田ノ浦工場（熊本県葦北郡芦北町）の令和2年7月豪雨による災害損失13.4億円及び遊休不動産（社宅）の減損損失6.4億円を特別損失として計上、受取保険金10.7億円及び遊休不動産（社宅）の固定資産売却益7.7億円を特別利益として計上

- 売上高 2,015億円 営業利益 79億円 ROS 3.9%
- 前年同期比で減収減益

(百万円)

	2019年1-12月	2020年1-12月	増減額	増減率
売上高	262,028	201,542	▲60,486	▲23.1%
営業利益	54,344	7,858	▲46,486	▲85.5%
経常利益	52,986	6,262	▲46,724	▲88.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	31,994	1,019	▲30,974	▲96.8%

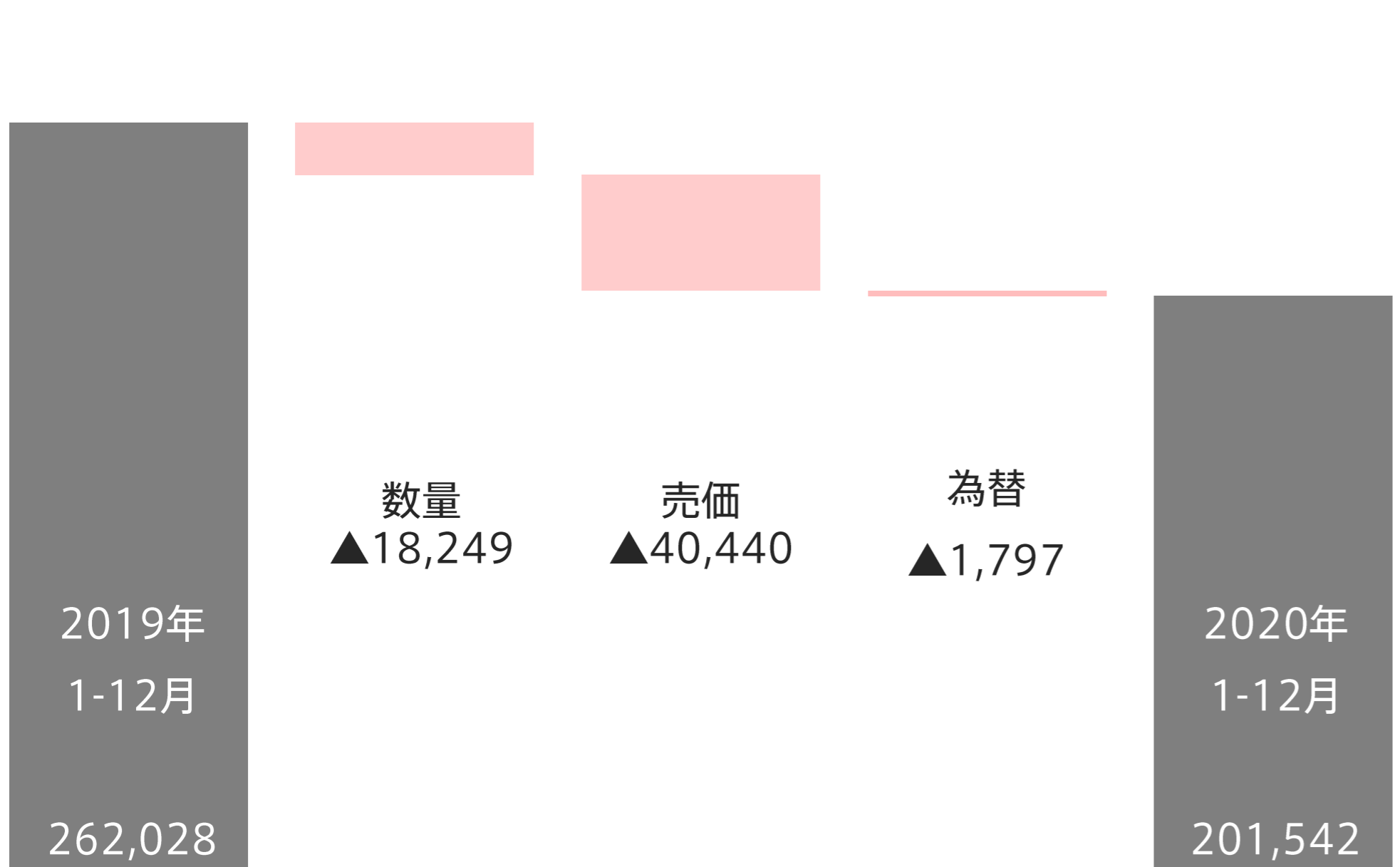
連結対象会社 (2020年末現在)

- 連結子会社 34社 (Carbon Savoie Group を連結化)
- 持分法適用会社 2社

1-12月平均為替レート

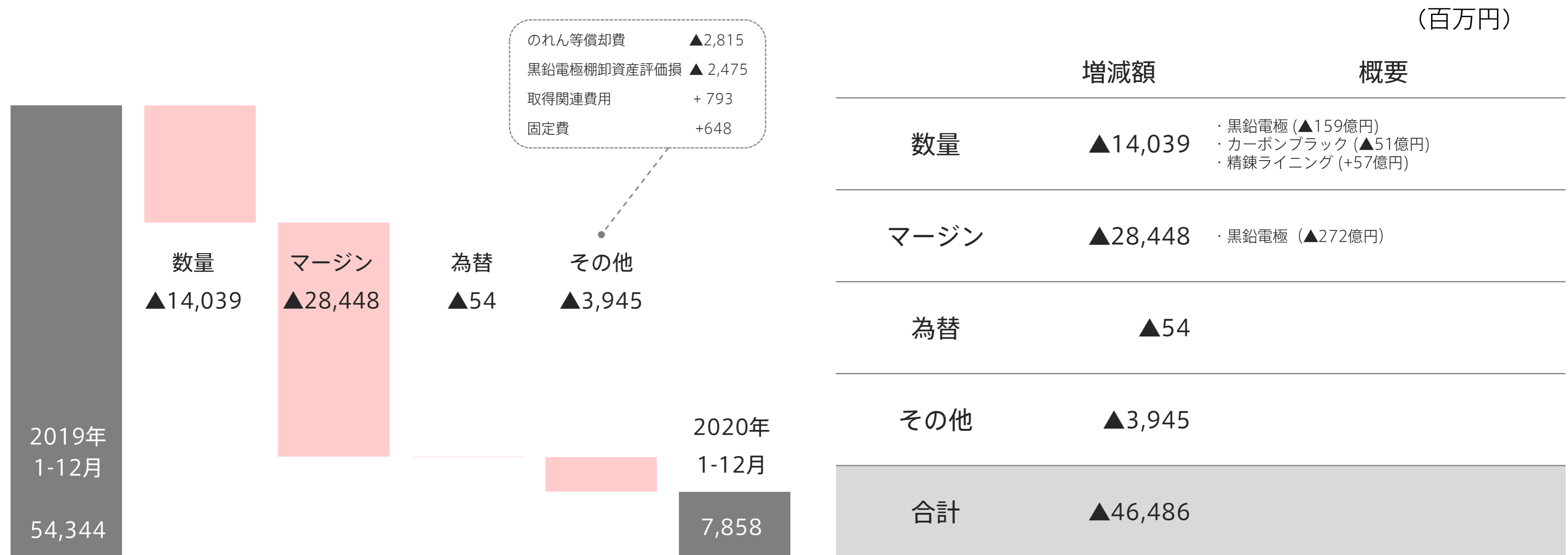
- 2019年 USD1= ¥109.05
EUR1= ¥122.07
- 2020年 USD1= ¥106.82
EUR1= ¥121.81

- 新設の精錬ライニング事業が貢献するも、黒鉛電極、カーボンブラックの数量、売価下落で売上高は、前年同期比で23.1%減



	増減額	概要
数量	▲18,249	・ 黒鉛電極 (▲273億円) ・ カーボンブラック (▲163億円) ・ 精錬ライニング (+217億円)
売価	▲40,440	・ 黒鉛電極 (▲259億円) ・ カーボンブラック (▲135億円)
為替	▲1,797	・ 円高
合計	▲60,486	

- 新設の精錬ライニング事業が貢献するも、黒鉛電極、カーボンブラックの数量要因と黒鉛電極のマージン減少で営業利益は前年同期比で85.5%減

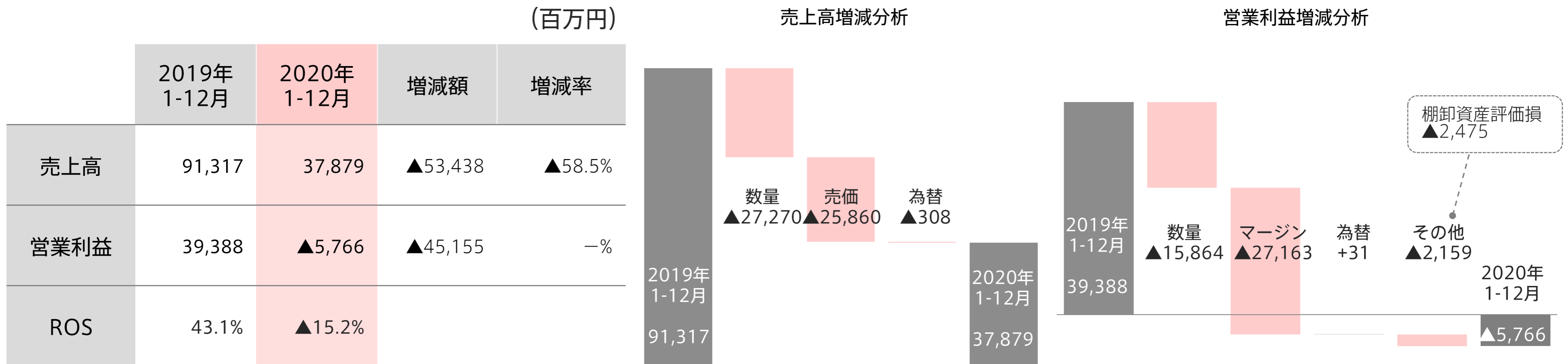


■ コロナ禍の影響もあり、主軸の黒鉛電極、カーボンブラックで前年同期比減収減益

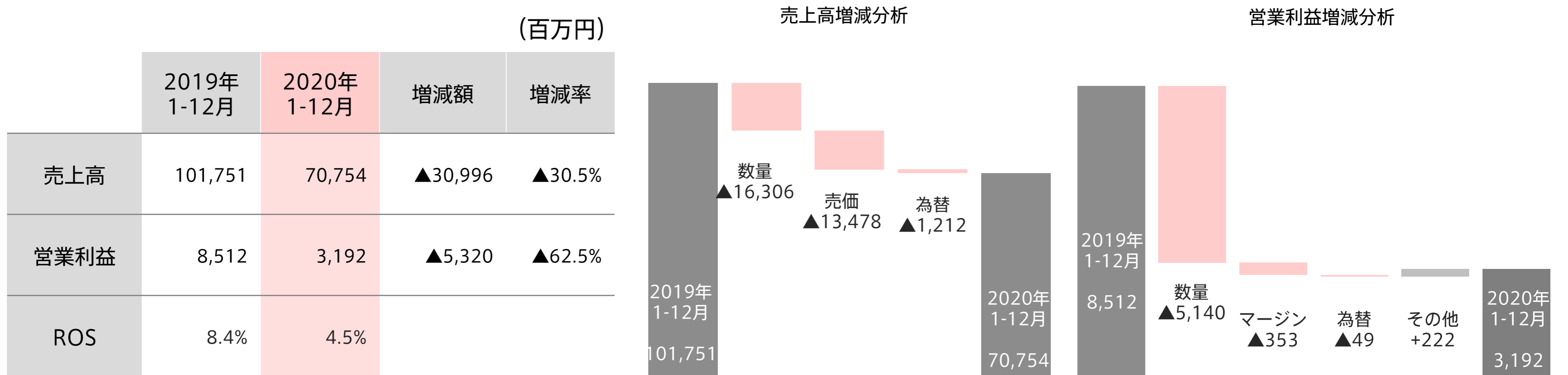
(百万円)

		売上高			営業利益		
		2019年1-12月	2020年1-12月	増減額	2019年1-12月	2020年1-12月	増減額
黒鉛電極		91,317	37,879	▲53,438	39,388	▲5,766	▲45,155
カーボンブラック		101,751	70,754	▲30,996	8,512	3,192	▲5,320
ファインカーボン		30,369	31,775	+1,406	6,107	6,647	+539
精錬ライニング		14,662	36,421	+21,758	▲1,600	1,161	+2,762
工業炉関連		12,641	13,873	+1,232	3,227	3,765	+537
その他	摩擦材	7,480	6,510	▲969	—	—	—
	負極材	3,661	4,186	+524	—	—	—
	その他	144	141	▲3	—	—	—
		11,286	10,837	▲449	▲21	298	+319
調整		—	—	—	▲1,270	▲1,439	▲169
合計		262,028	201,542	▲60,486	54,344	7,858	▲46,486

- 世界的な経済活動の減速により、第2四半期の先進国需要が低迷。市中在庫の消化が遅れ、電極市況も低迷
- 想定を上回る収益性の低下にともない棚卸資産の評価損失36.7億円を計上



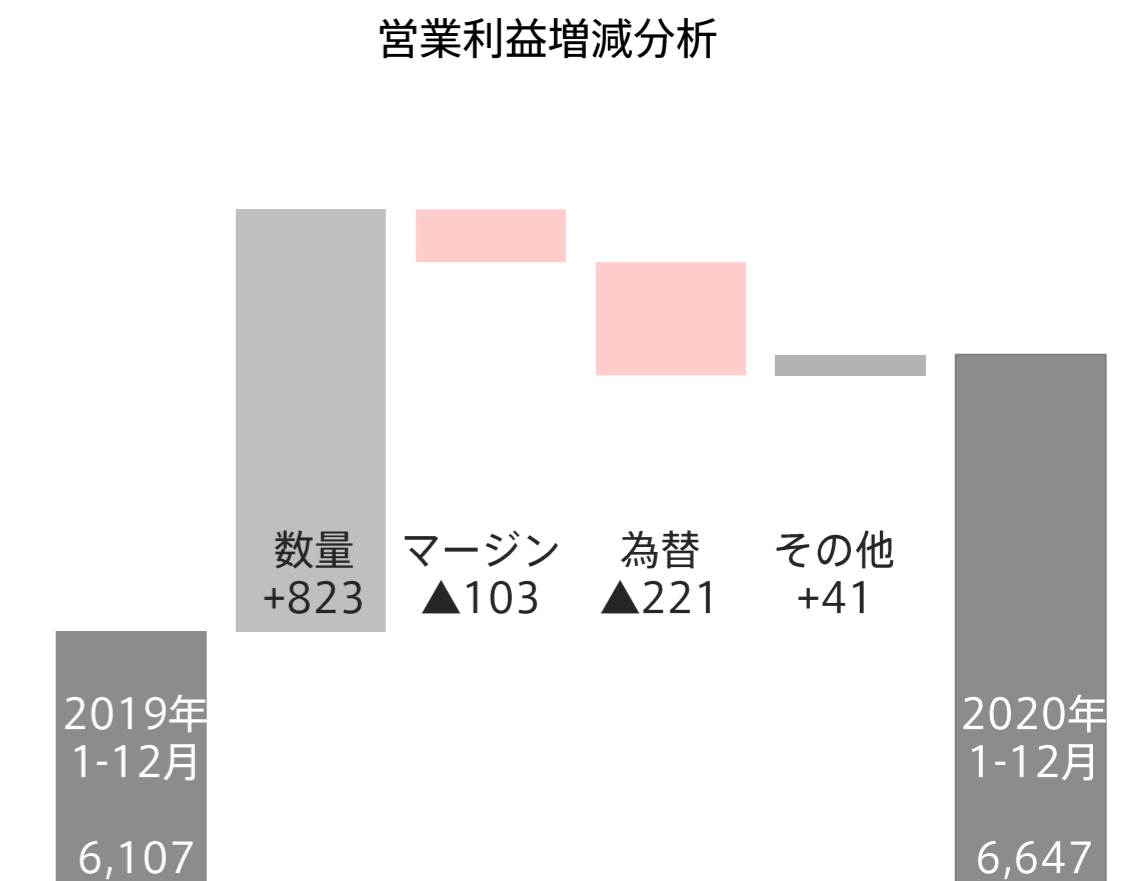
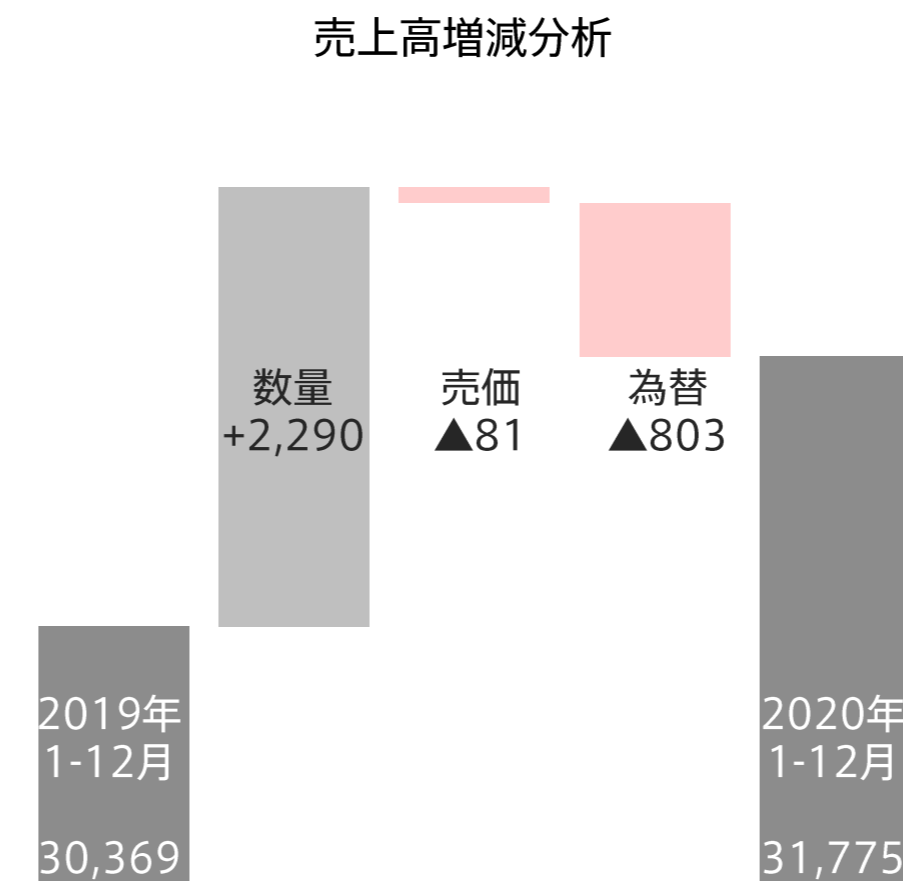
- コロナ禍で上半期はカーボンブラック需要が低迷。下半期には急速に回復したものの、上半期の減産が響き、前年同期比では減収減益



- 一般産業用向け市場では販売量減も、半導体、太陽光発電向け市場は堅調に推移
- 半導体上工程のエッチング工程で使用されるソリッドSiC（シリコンカーバイド）製のフォーカスリングが成長ドライバー（けん引役）となり前年同期比で増収増益

(百万円)

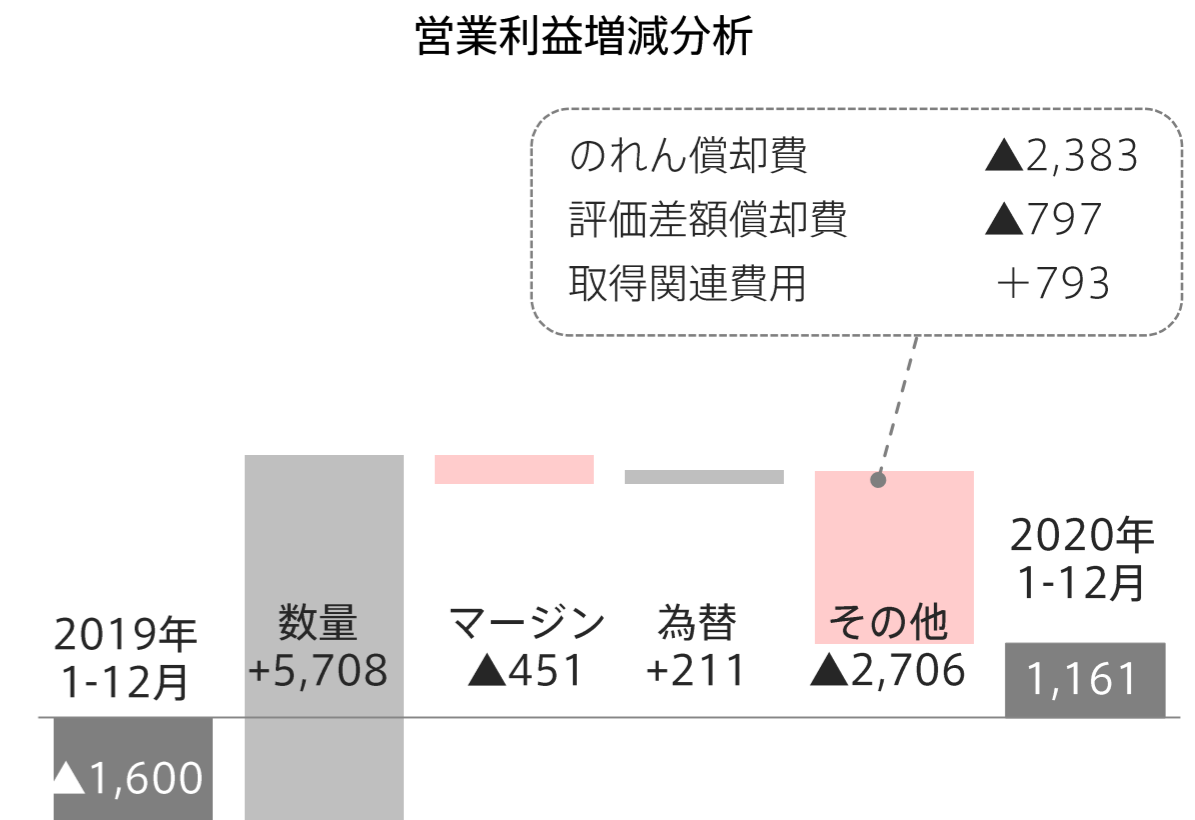
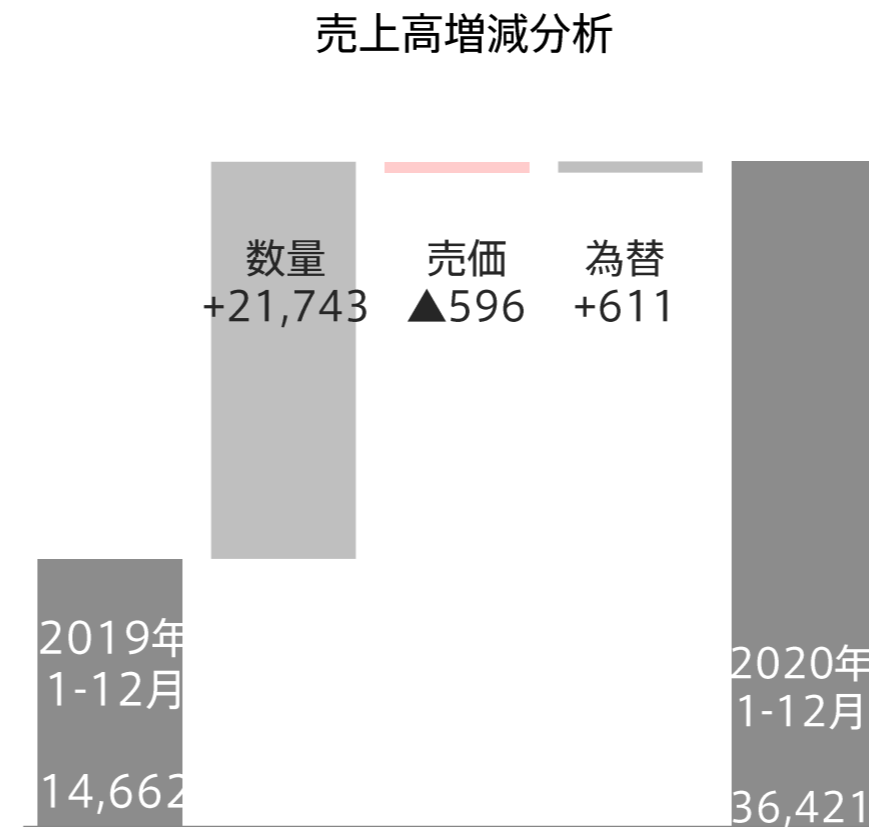
	2019年 1-12月	2020年 1-12月	増減額	増減率
売上高	30,369	31,775	+1,406	+4.6%
営業利益	6,107	6,647	+539	+8.8%
ROS	20.1%	20.9%		



- Tokai COBEX社 (TCX) は2019年8月より、Tokai COBEX Savoie社 (TCS) は2020年8月より連結貢献。2社の統合は順調に進捗
- 世界経済減速の影響を受けたものの、対面業界のアルミ市況は後半に堅調さを取り戻し、連結調整前の営業利益は108億円。連結調整として、取得原価配分に伴う評価差額償却費▲49億円、のれん償却費▲40億円、TCSの取得関連費用▲6億円等が計上され、連結調整後のセグメント連結営業利益は11.6億円

(百万円)

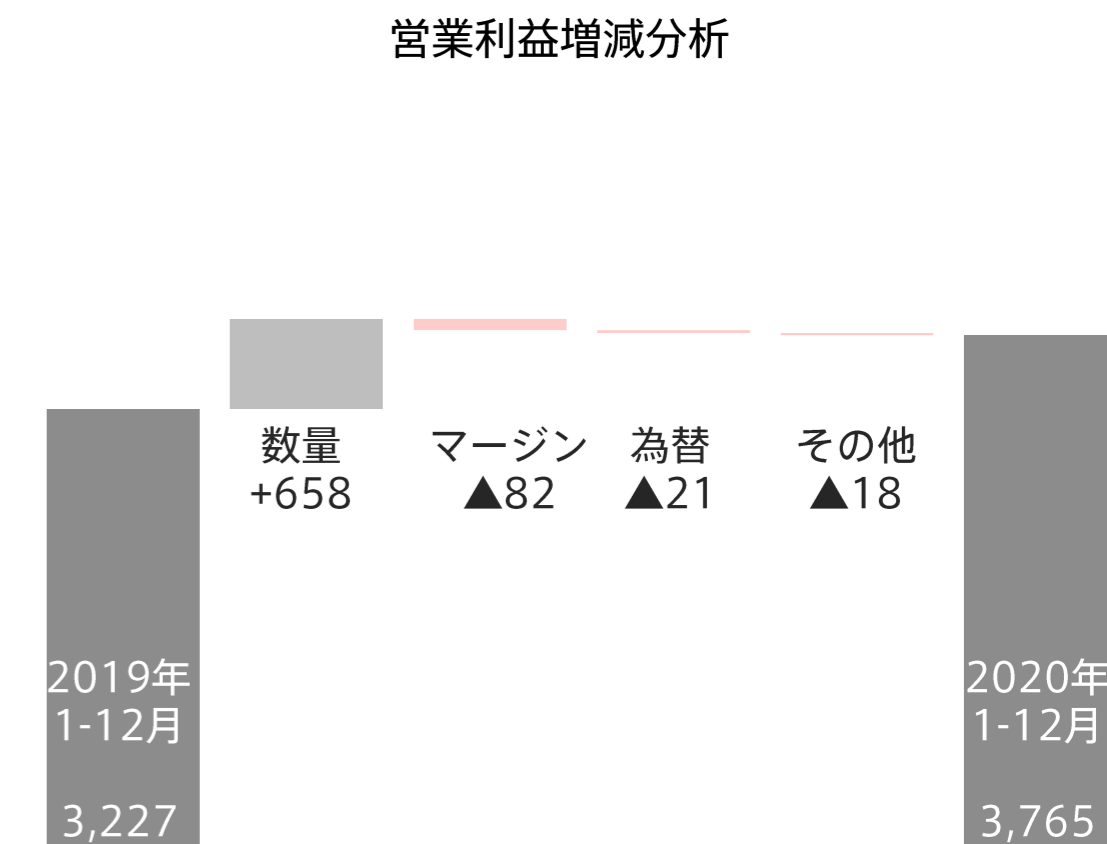
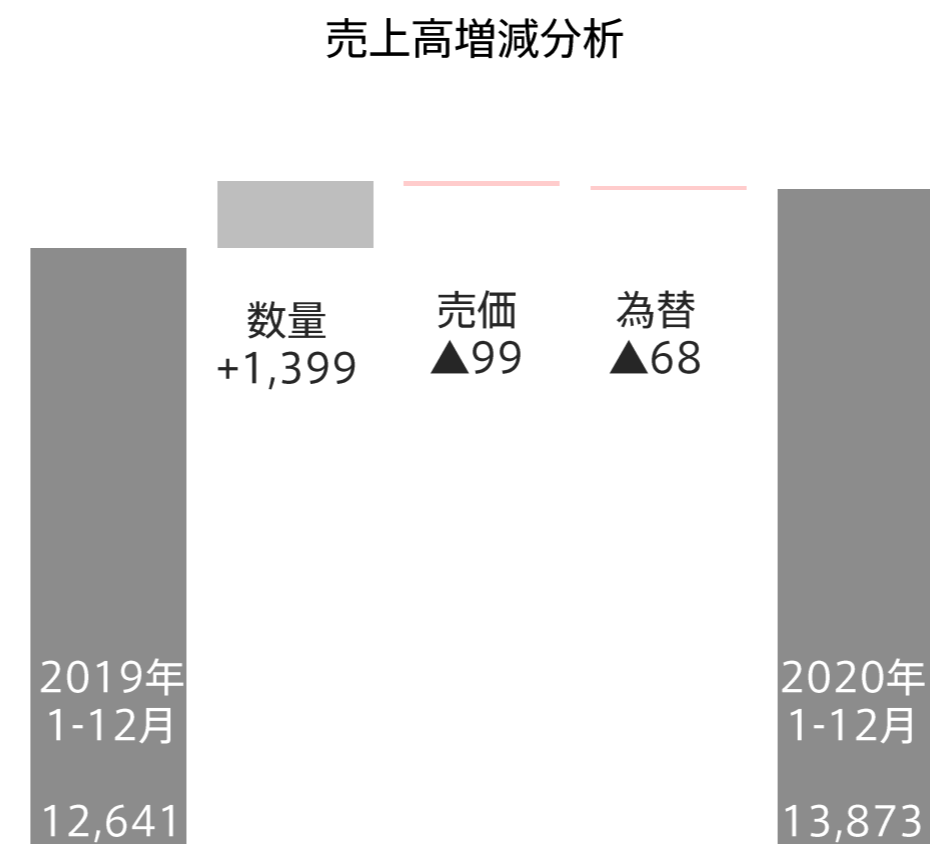
	2019年 1-12月	2020年 1-12月	増減額	増減率
売上高	14,662	36,421	+21,758	+148.4%
営業利益	▲1,600	1,161	+2,762	-
ROS	▲10.9%	3.2%		



- 発熱体その他製品は、コロナ禍の影響により、電子部品業界向け及び中国向けの需要が減少したが、工業炉は、情報技術関連業界向け及びエネルギー関連業界向けの設備投資が堅調に推移し、事業全体としては前年同期比で増収増益

(百万円)

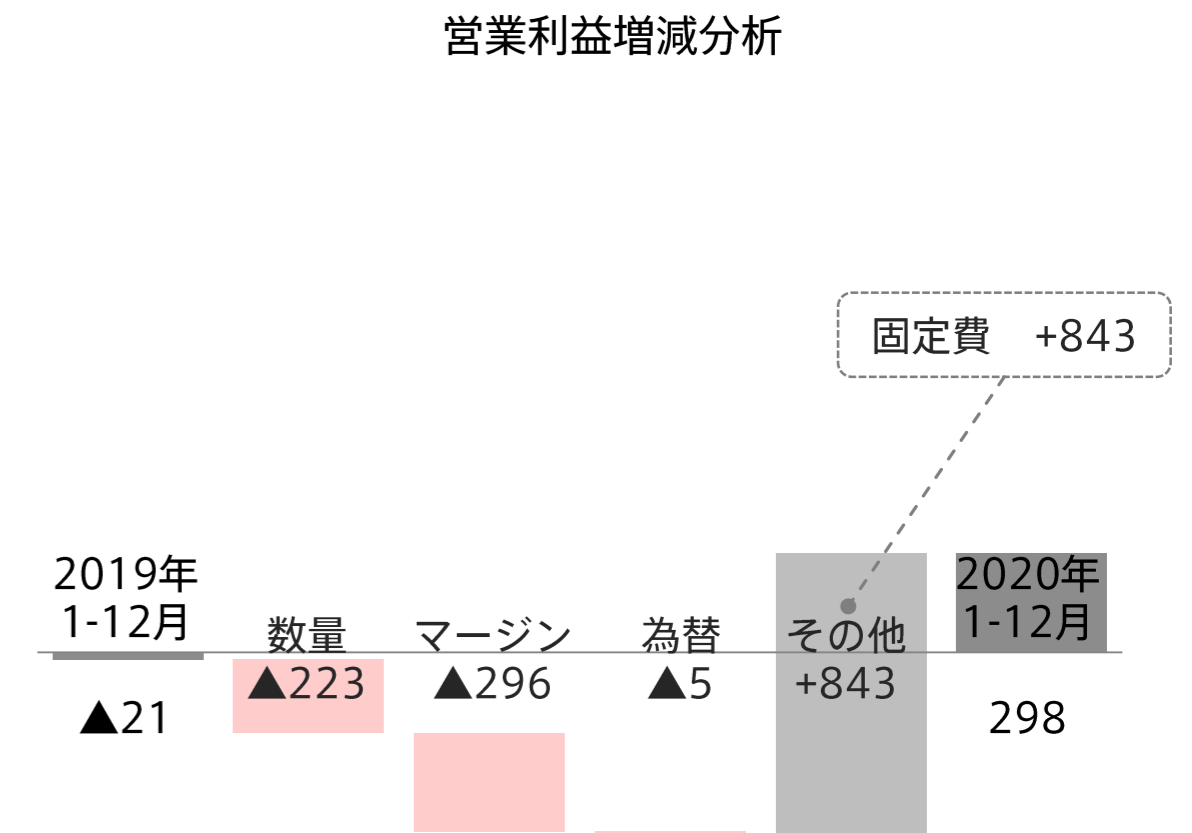
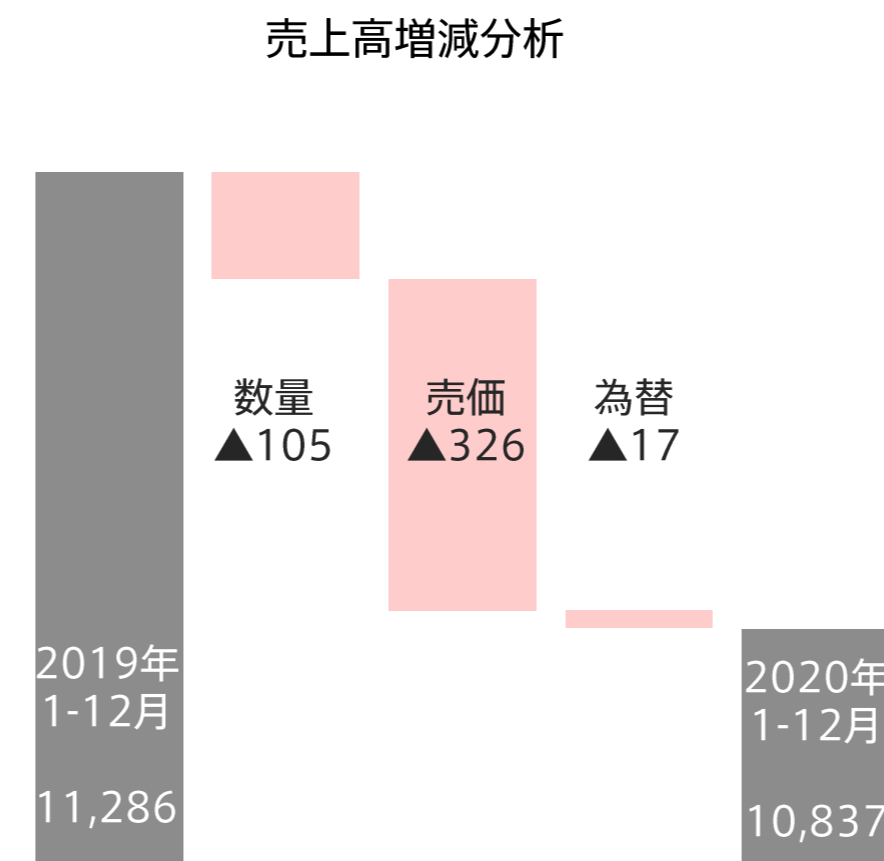
	2019年 1-12月	2020年 1-12月	増減額	増減率
売上高	12,641	13,873	+1,232	+9.8%
営業利益	3,227	3,765	+537	+16.6%
ROS	25.5%	27.1%		



- 摩擦材：四輪市販市場からの撤退、コロナ禍による需要減少
売上高 6,510 百万円（前年同期比 13.0%減）
- 負極材：欧州を中心に環境車需要が増加し、販売数量は前年同期比で増加
売上高 4,186 百万円（前年同期比 14.3%増）

(百万円)

	2019年 1-12月	2020年 1-12月	増減額	増減率
売上高	11,286	10,837	▲449	▲4.0%
営業利益	▲21	298	+319	-%
ROS	▲0.2%	2.8%		



グローバル事業基盤の拡大と多様化を促す財務方針

財務基本方針

- 財務基盤強化と格付け(R&I A-)の維持向上
- 長期安定資金の確保、金融資本市場へのアクセス維持
- 流動性維持、リファイナンスリスクの軽減
- グローバル資金管理と資金効率の最適化
(Global Cash Management System・インハウスバンキング機能)

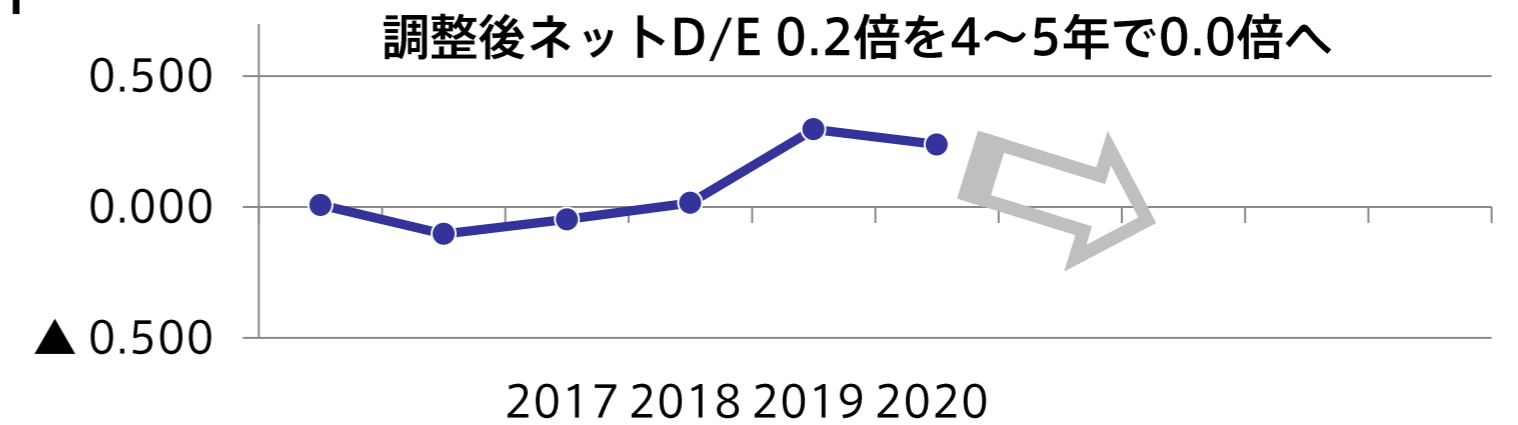
手元流動性

- 手元流動性の水準は3年間で3.0倍へ

不確実に対する耐久性を高めるため、手元流動性の水準（現預金＋短期流動性枠）の拡大を推進。グローバル・キャッシュ・マネジメント（GCMS）を導入してグループ全体のキャッシュポジションを管理することで資金効率の最適化を実践しています。

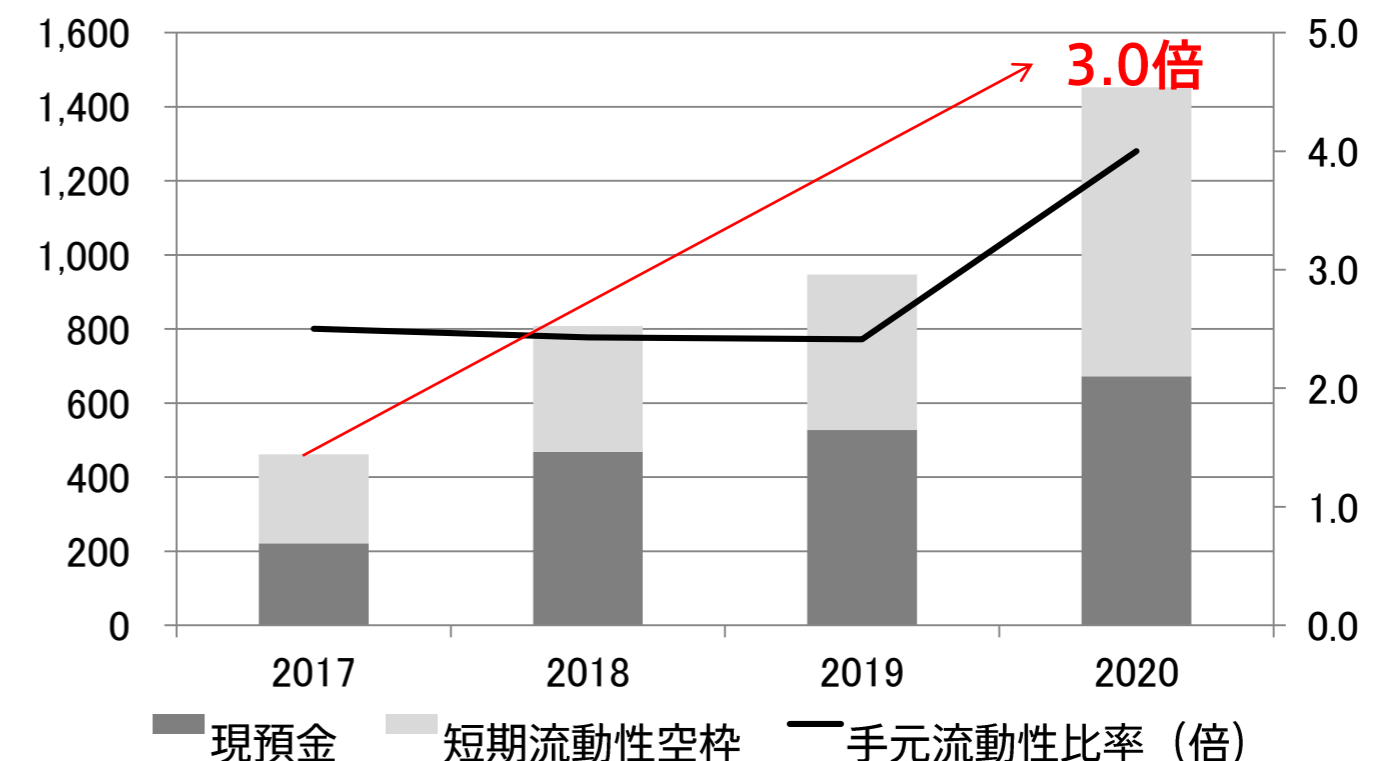
	(億円)			
	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12
短期流動性空枠	240	340	420	780
現預金	222	468	527	672
手元流動性比率（倍）	2.5	2.4	2.4	4.0

*手元流動性比率とは、手元流動性（現金＋預金）÷月商（売上高÷連結会計期間）です



	(億円)			
	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12
調整後ネット有利子負債	▲60	29	703	565
調整後自己資本	1,264	1,871	2,368	2,363
調整後ネットD/E（倍）	▲0.047	0.016	0.297	0.239

*調整後ネットD/Eとは、ハイブリッドファイナンスでの格付機関からの資本性認定を考慮したネットD/Eです



主なキャッシュフロー項目

(百万円)

	2019年1-12月	2020年1-12月	概要
営業活動によるキャッシュフロー	41,664	55,022	
税金等調整前当期純利益	51,226	6,116	
減価償却費	18,503	20,890	
のれん償却額	4,205	6,512	
売上債権増減	8,623	10,463	} 運転資本増減 +271億77百万円 (前年同期 ▲104億24百万円)
棚卸資産増減	▲19,778	26,145	
仕入債務増減	730	▲9,430	
法人税等の支払額その他	▲21,845	▲5,674	
投資活動によるキャッシュフロー	▲99,159	▲44,301	
有形固定資産取得	▲23,984	▲26,839	
子会社取得	▲73,643	▲15,229	
財務活動によるキャッシュフロー	64,568	927	
借入金増減(CP含む)	38,221	▲9,568	
社債発行	35,000	20,000	
配当金の支払	▲7,673	▲8,313	
現金及び現金同等物期末残高	46,443	57,727	

※運転資本=売上債権増減+棚卸資産増減-仕入債務増減

主な貸借対照表項目

(百万円)

	2019年12月末	2020年12月末	概要
資産合計	462,872	459,709	
流動資産	196,446	177,678	
現預金	52,695	67,174	<ul style="list-style-type: none"> ・現預金月商比率 4.0倍 (前期末2.4倍) ・棚卸資産 (前期末比▲225億80百万円) ・有形固定資産 (前期末比+236億64百万円) ・無形固定資産 (前期末比▲86億17百万円)
受取手形・売掛金	50,648	41,438	
棚卸資産	86,380	63,799	
固定資産	266,425	282,031	
有形固定資産	101,343	125,007	
無形固定資産	141,966	133,349	
投資その他の資産	23,115	23,674	
負債合計	229,896	234,894	<ul style="list-style-type: none"> ・有利子負債 1,586億43百万円 (前期末比+106億13百万円) ・直接調達比率 59.9%(前期末 43.9%)、長期比率 67.3%(前期末53.8%) ・短期融資枠620億円 (前期末400億円) : 借入実行額20億円 ・売掛債権流動化・CPプログラム発行限度枠580億円(前期末480億円) : 借入実行額400億円
流動負債	117,541	92,656	
固定負債	112,355	142,237	
純資産合計	232,975	224,815	<ul style="list-style-type: none"> ・自己資本比率43.8%(前期末45.8%) ・調整後自己資本比率※ 51.4%(前期末51.2%) ・ネットD/Eレシオ 0.5倍 (前期末0.5倍) ・調整後ネットD/Eレシオ 0.2倍 (前期末0.3倍)
株主資本	203,819	196,543	
その他包括利益累計額	8,019	4,723	
非支配株主持分	21,137	23,548	
負債純資産合計	462,872	459,709	

※調整後自己資本比率、調整後ネットD/Eレシオとは、ハイブリッドファイナンスでの格付機関からの資本性認定を考慮した自己資本比率、ネットD/Eレシオです

II

2021年12月期

業績予想

- 先進国を中心とした大規模な財政出動、金融緩和政策持続により、回復軌道に戻りつつある世界経済を下半期から織り込み
- 一方、新型コロナウイルス感染症の収束期待は高まりつつあるものの、米中对立、米国新政権政策動向等のリスク要因もあり、事業環境の変化も一定程度織り込み

(百万円)

	2020年度 実績			2021年度 業績予想 (今回発表)			増減額	増減率
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	93,738	107,804	201,542	103,800	124,100	227,900	+26,358	+13.1%
営業利益	5,817	2,040	7,858	4,600	13,500	18,100	+10,242	+130.3%
経常利益	5,163	1,099	6,262	4,100	12,800	16,900	+10,638	+169.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,158	▲1,138	1,019	200	8,700	8,900	+7,881	+772.6%
ROS	6.2%	1.9%	3.9%	4.5%	10.8%	7.9%	—	—
ROIC	—	—	1.6%	—	—	3.7%	—	—
ROE	—	—	0.5%	—	—	4.5%	—	—

連結対象会社

- 連結子会社 34社
- 持分法適用会社 2社

為替レート前提 (通期)

- USD1=¥102, EUR1=¥122

セグメント別売上高・営業利益予想

20

(百万円)

	2020年度 実績			2021年度 業績予想 (今回発表)			増減額	増減率
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	93,738	107,804	201,542	103,800	124,100	227,900	+26,358	+13.1%
黒鉛電極	20,927	16,951	37,879	13,500	27,400	40,900	+3,021	+8.0%
カーボンブラック	32,630	38,124	70,754	39,000	39,000	78,000	+7,246	+10.2%
ファインカーボン	15,544	16,230	31,775	15,800	17,900	33,700	+1,925	+6.1%
精練ライニング	12,900	23,520	36,421	20,800	24,800	45,600	+9,179	+25.2%
工業炉関連	6,390	7,483	13,873	9,200	9,100	18,300	+4,427	+31.9%
その他								
摩擦材	3,175	3,335	6,510	3,300	3,600	6,900	+390	+6.0%
負極材	2,097	2,089	4,186	2,100	2,200	4,300	+114	+2.7%
その他	71	69	141	100	100	200	-	-
その他計	5,344	5,493	10,837	5,500	5,900	11,400	+563	+5.2%
営業利益	5,817	2,040	7,858	4,600	13,500	18,100	+10,242	+130.3%
黒鉛電極	1,522	▲7,288	▲5,766	▲2,000	3,300	1,300	+7,066	-
カーボンブラック	▲108	3,300	3,192	2,600	2,800	5,400	+2,208	+69.2%
ファインカーボン	3,484	3,162	6,647	2,300	3,400	5,700	▲947	▲14.2%
精練ライニング	▲238	1,400	1,161	200	2,000	2,200	+1,039	+89.5%
工業炉関連	1,659	2,105	3,765	2,000	2,400	4,400	+635	+16.9%
その他	233	64	298	200	300	500	+202	+67.8%
調整	▲734	▲704	▲1,439	▲700	▲700	▲1,400	-	-

- 連結配当性向30%を目標に安定的・継続的な配当を重視
- 2021年12月期の年間配当予想は1株につき30円（中間・期末それぞれ1株につき15円）

1株当たり配当金と当期純利益



(年度)	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021f
配当総額 (百万円)	1,708	1,708	1,280	1,280	1,280	1,280	2,556	5,114	10,230	6,395	-
配当性向	28%	75%	106%	50%	52%	-	21%	7%	32%	627%	71.2%

III

T-2022

ローリング中期経営計画の進捗状況ご報告

昨年2月更新のローリング中期経営計画「T-2022」再掲

(次回ローリング計画は本年5月発表を予定しております)

T-2022 基本方針：2020 → 2022年

収益基盤の強化

- コア事業における安定キャッシュフローの創出
- 買収4案件のPMI（経営統合）
- 大幅な設備更新、環境投資



成長機会の拡大

- 成長分野における新規設備投資による能力増強
- 事業及び製品ポートフォリオの最適化
- 戦略分野へのM&A投資は継続
- 技術開発力の強化も取り組み継続

連結ガバナンス体制構築

- 本社組織・制度見直し
- 北米統括会社機能の拡充
- 人材の確保、育成

T-2022 定量目標：2020 → 2022年

売上 **3000** 億円

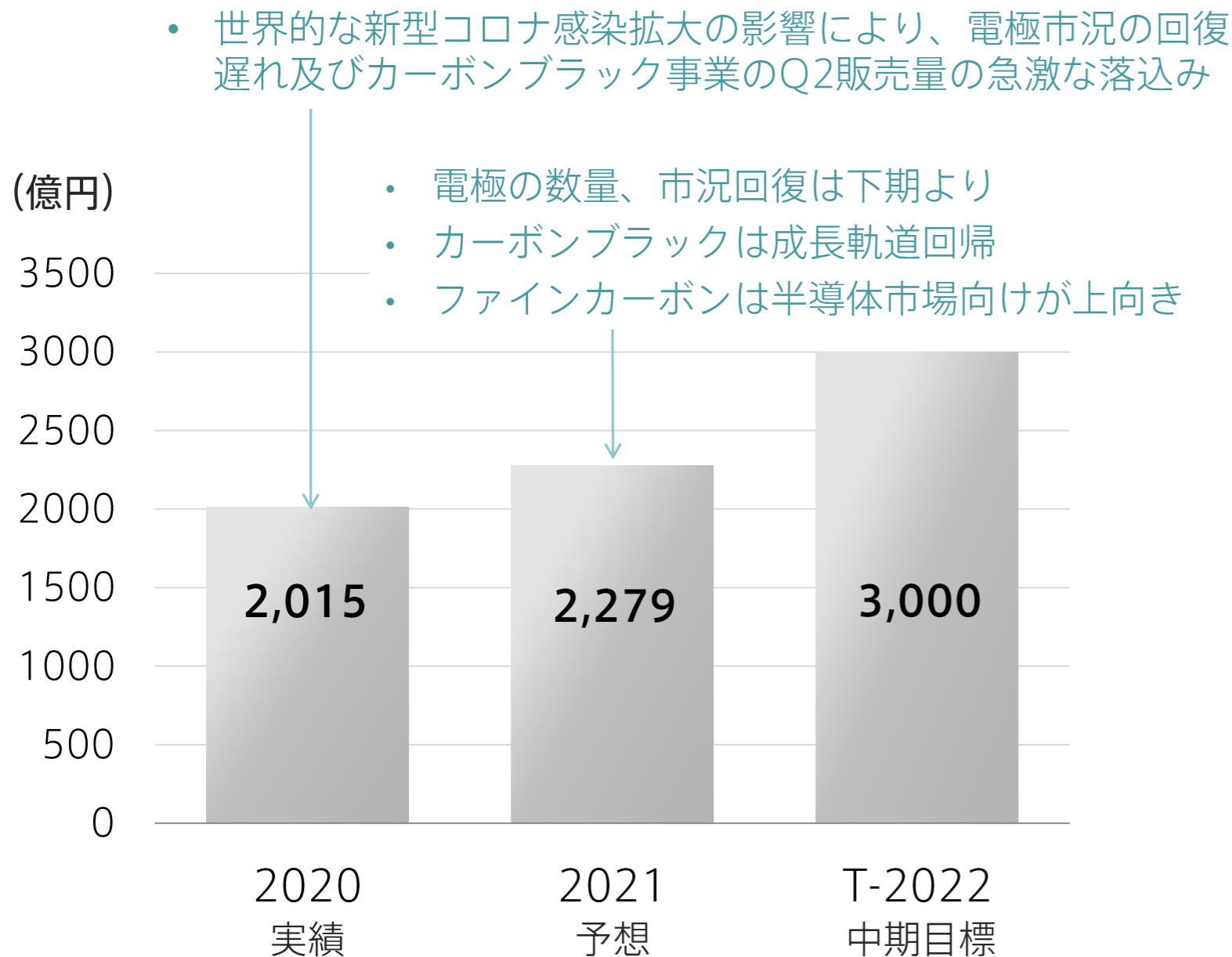
営業利益 **540** 億円

ROS **18** %

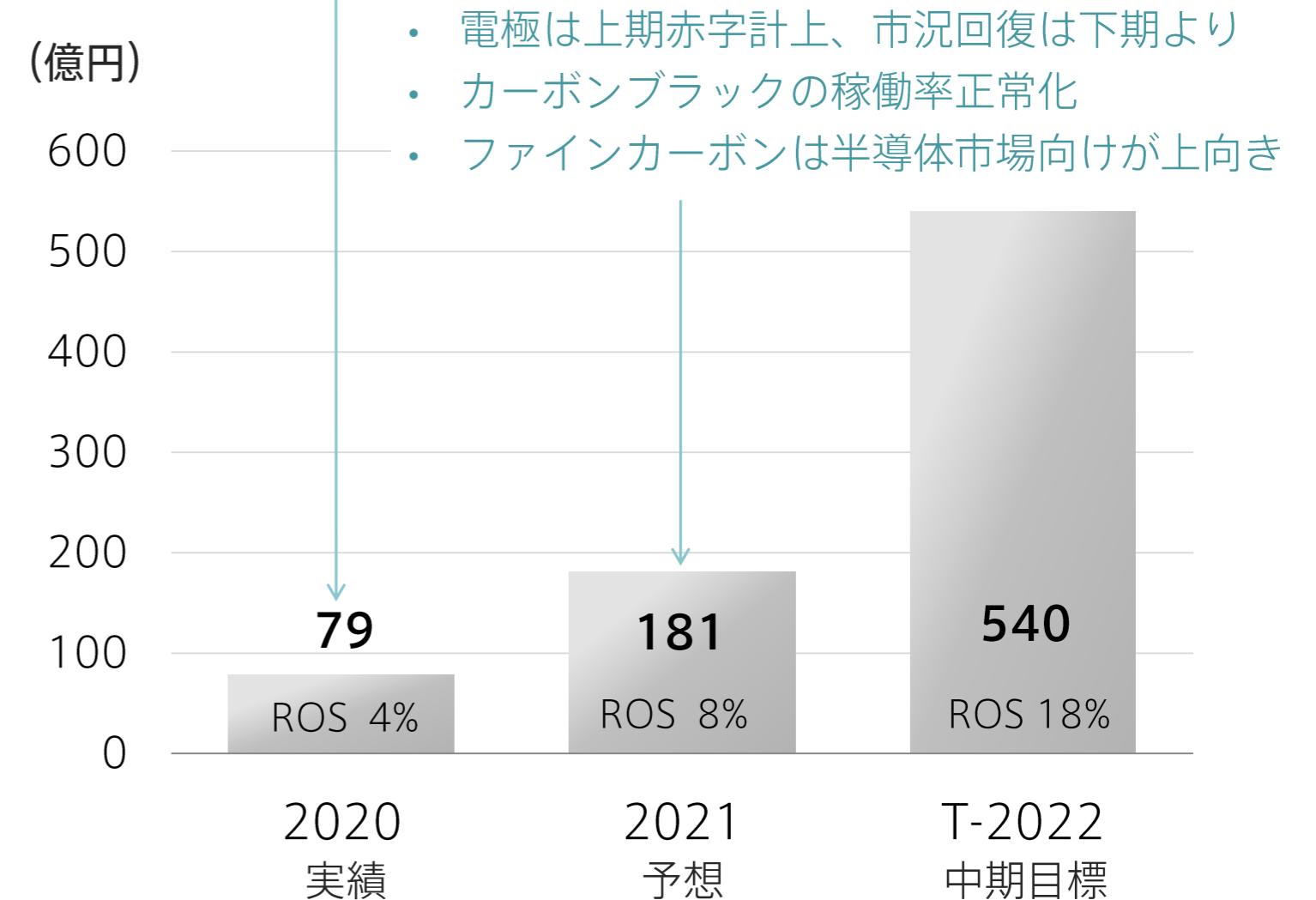
EBITDA **820** 億円

新型コロナウイルス感染拡大による鉄鋼産業への影響から、電極事業の市況回復は当初前提より、約1年遅れる。その他事業の立ち直りは早く、2020年末には概ね成長軌道回帰

売上



営業利益



成長市場への戦略投資

コロナ下でのPMI（企業買収後の統合プロセス）は予定通り進捗

T-2022重点施策（2020→2022年）の進捗状況

*次回ローリング計画は本年5月発表予定



電極事業の安定的キャッシュフロー創出

鉄鋼生産の世界的な停滞により、電極の市況回復は2021年下期に遅延



カーボンブラック事業のシナジー創出

北米・日本拠点それぞれが得意とする高収率・高生産性の発生炉技術を双方に導入（コロナ禍で一部遅延）



成長市場への積極投資

半導体産業の成長に沿い、韓国CVD炉、中国純化炉投資、工業炉キャパ増
フランスのカソードメーカー Tokai COBEX Savoie社買収



次世代商品の開発

次世代負極材、環境負荷低減材料の開発
RuC[®](Ready-to Use Cathode)試験納入拡大



連結ガバナンス体制の構築・強化

海外子会社管理体制強化（執行の監督）。資金管理とモニタリング強化
技術・人材交流の促進、ESG経営基盤構築

2023年までの向こう3年間のプランを本年5月に公表予定
環境変化（脱炭素・ウィズコロナ）への適応を図る3年間との位置づけ

重点テーマ



主力事業の採算改善
成長軌道への回帰

電極を始めとした主力事業の数量、価格回復。その後の市場の成長に合わせた発展

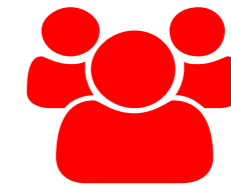
01



脱炭素・ウィズコロナを踏まえた
長期戦略見直し

長期ビジョン・事業領域を再定義した上で、
ポートフォリオの再構築（選択と集中）

02



連結ガバナンス
体制強化

急速なグローバル化進展に伴う連結ガ
バナンスの強化。ESG経営の基盤構築

03

「2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロ」達成に向けた長期戦略へのキックオフ
製造工程変更も含め対面業界・原材料サプライヤとも協力して対応

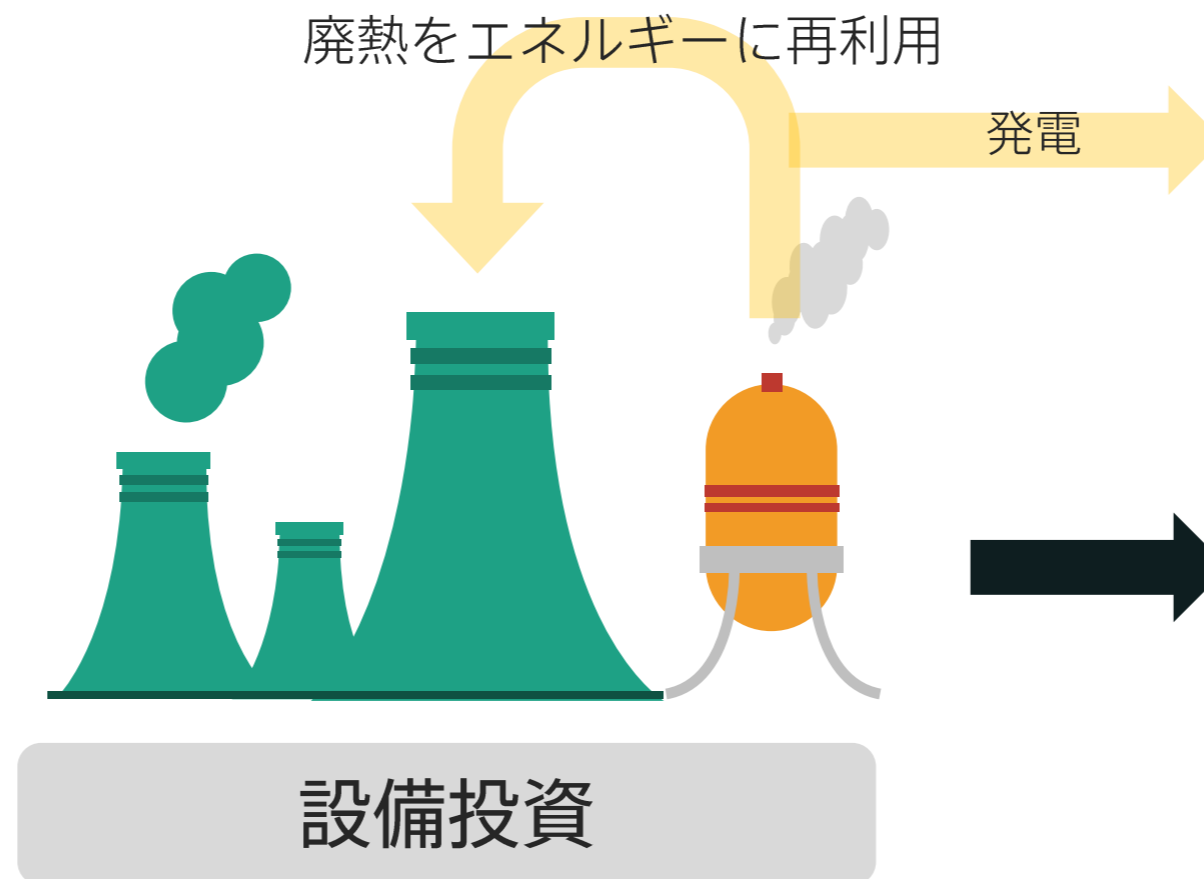
カーボンニュートラル対応の方向性（カーボンブラック事業の例）

CO2発生をより少なくする原料の探求

使用原材料の再考

- 天然由来
- 再生可能資源
- リサイクル原料

当社製造過程における
CO2排出抑制



- 廃熱回収→再利用
- 収率（歩留まり）の向上
- CO2回収によるカーボンリサイクル

エネルギーの効率運用で排出抑制

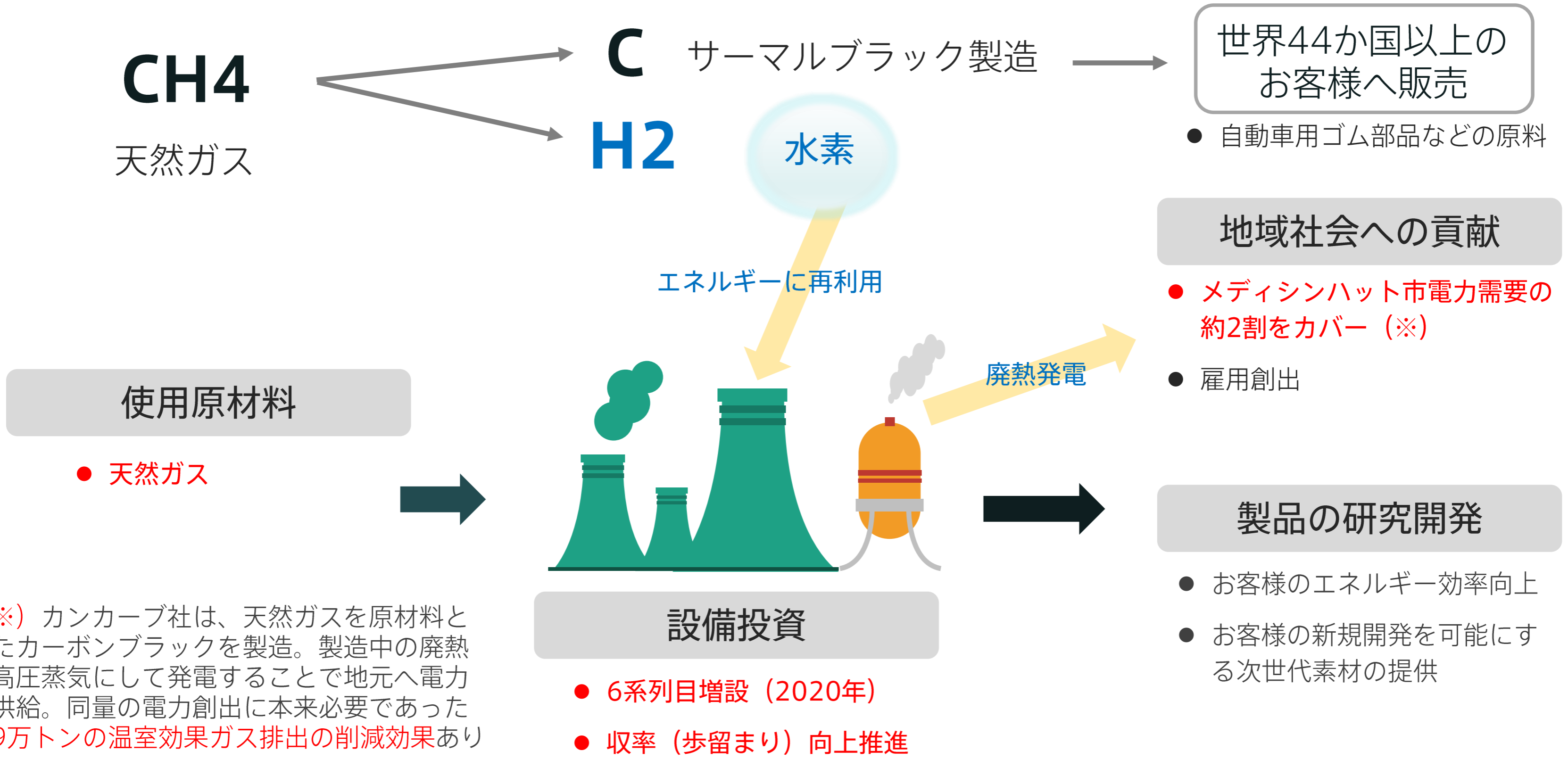
地域社会への貢献

- 地域への電力供給
- 安心、安全な環境対策
- 雇用創出

顧客製品に係るCO2排出抑制

製品の研究開発

- お客様の新規開発を可能にする次世代素材の提供（高耐久性CBの開発等）
- 再生カーボンの研究開発



參考資料

(百万円)

子会社	2019年 1-12月	2020年 1-12月	増減額	所在地・事業	備考
Tokai Erftcarbon	28,126	12,191	▲15,934	ドイツ 黒鉛電極	
Tokai Carbon GE	36,248	13,514	▲22,734	アメリカ 黒鉛電極	・2017年11月より連結寄与
Thai Tokai Carbon Product	17,971	12,195	▲5,776	タイ カーボンブラック	
Tokai Carbon CB	43,813	31,083	▲12,729	アメリカ カーボンブラック	・2018年9月より連結寄与
Cancarb	6,641	5,730	▲910	カナダ カーボンブラック	
Tokai Carbon Korea	16,075	20,698	+4,623	韓国 ファインカーボン	・2018年6月より連結寄与
Tokai COBEX	14,662	32,214	+17,551	ドイツ 精錬ライニング	・2019年8月より連結寄与

(百万円)

	2017	2018	2019	2020	2021 (予想)
売上	106,252	231,302	262,028	201,542	227,900
営業利益	11,093	73,065	54,344	7,858	18,100
EBITDA	18,201	85,374	77,053	35,262	47,000
親会社株主に帰属する純利益	12,346	73,393	31,994	1,019	8,900
ROS (%)	10.4%	31.6%	20.7%	3.9%	7.9%
ROE (%)	10.4%	46.8%	16.0%	0.5%	4.5%
ROIC (%)	7.7%	29.6%	13.1%	1.6%	3.7%
設備投資額	4,282	11,794	24,341	28,873	25,000
減価償却費	6,647	10,390	18,503	20,890	22,000
研究開発費	1,482	1,883	2,460	2,682	3,000
有利子負債	16,144	49,710	148,030	158,643	-
ネットD/Eレシオ	0.0	0.0	0.5	0.5	-
調整後ネットD/Eレシオ	0.0	0.0	0.3	0.2	-
従業員数 (人)	2,142	2,944	3,714	4,178	-
為替レート (JPY/USD)	112.19	110.43	109.05	106.82	102

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

セグメント別業績推移 (四半期ベース)

32

(百万円)

	2019					2020				
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
売上高	68,838	70,338	59,448	63,404	262,028	52,790	40,948	50,885	56,919	201,542
黒鉛電極	27,540	29,511	15,971	18,294	91,317	11,460	9,467	9,354	7,596	37,879
カーボンブラック	27,308	27,286	25,763	21,391	101,751	21,030	11,600	17,769	20,354	70,754
ファインカーボン	8,296	7,664	7,286	7,122	30,369	7,825	7,718	8,038	8,192	31,775
精錬ライニング	—	—	4,511	10,151	14,662	6,652	6,248	10,307	13,213	36,421
工業炉関連	2,212	2,801	3,194	4,432	12,641	3,242	3,147	2,817	4,665	13,873
その他										
摩擦材	2,030	1,886	1,857	1,706	7,480	1,639	1,535	1,440	1,894	6,510
負極材	1,413	1,151	827	269	3,661	903	1,193	1,121	967	4,186
その他	36	36	36	35	144	35	35	35	34	141
その他計	3,480	3,073	2,721	2,011	11,286	2,579	2,765	2,597	2,896	10,837
営業利益	21,226	19,215	8,129	5,773	54,344	6,750	▲932	1,587	453	7,858
黒鉛電極	15,423	15,917	4,921	3,126	39,388	2,131	▲609	▲1,204	▲6,084	▲5,766
カーボンブラック	3,424	2,262	2,282	542	8,512	1,741	▲1,850	756	2,543	3,192
ファインカーボン	1,905	1,549	1,463	1,188	6,107	1,919	1,564	1,520	1,642	6,647
精錬ライニング	—	▲972	▲1,123	494	▲1,600	175	▲414	237	1,163	1,161
工業炉関連	586	762	806	1,072	3,227	868	790	658	1,447	3,765
その他	166	33	82	▲303	▲21	242	▲9	▲45	110	298
調整	▲279	▲339	▲304	▲347	▲1,270	▲330	▲404	▲336	▲368	▲1,439

- 本資料に掲載されている将来見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の仮定を前提としています。
- 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先
総務部 TC-IR@tokaicarbon.co.jp



Building a Future of Technology and Trust
TOKAI CARBON CO., LTD.